



人権週間に関連した指導

人権週間（12月4日～10日）に合わせて、身近な人権について考えさせ、広く人権意識の高揚を図ることをねらいとして、各学級で以下の指導を行いました。

- ◆「桐生市人権教育推進運動」啓発作品に応募する。
 - 全児童が考えた人権標語の代表作品（各学級7点） ※全児童の標語を廊下に掲示
 - 4～6年年生全員が制作した人権ポスター
- ◆人権週間期間に、各学級で、人権をテーマにした授業を1時間行う。
（2年生は、10月27日に「人権教室」として実施済み）
- ◆12月5日(月)の業前時間に、<人権集会>を開催する。



【校歌合唱】



【人権標語の発表】

《内容》

- ①はじめの言葉
- ②校歌合唱
- ③学級代表人権標語の発表
- ④校長先生の話
- ⑤全校合唱『すてきな友達』
- ⑥おわりの言葉

【学級代表の人権標語】

- ・1年1組 溝口智 ぼくが みんなを まもるぞ
- ・2年1組 櫻口夏 ひとりじゃない こまった時でも みんないる
- ・2年2組 亀口惺 ともだちの やさしいことばに ありがとう
- ・3年1組 田口天 うれしいね やさしくするのも されるのも
- ・4年1組 渡口莉 思いやり ほかほか心の エネルギー
- ・5年1組 杉口実 考えて その瞬間の 相手の思い
- ・6年1組 猿口汰 あなたと自分 笑顔で向き合う 思いやり
- ・つくし学級 小口大 いじめは 絶対にしない つくし学級

北小では今年度、12月1日現在で「4件」のいじめを認知して指導を行い(解消済み)、教育委員会に報告しています。

学校はいじめの未然防止に係る指導に力を入れていますが、子どもというのは、十分な判断力が身に付いていない未熟な存在ですから、相手が嫌がることを言ったり、したり、させたりするいじめが起こることは決して珍しいことではありません。

そして、いじめは、学級担任が関わることなしに解消されることはありませんので、すぐに担任に伝えることが重要です。「本人がすぐに」がベストです。『学校生活アンケート』まで待つ必要はありません。知らされた担任は、その情報を管理職を含めた複数の職員で共有し、すぐに聞き取り調査を始め、調査結果についても管理職を含めた複数の職員で共有して判断を下し、いじめならばいじめと認知して指導を行い、保護者にも報告します。

<テレビ会議システム>を使った同時授業 … 今年も黒保根小と

北小と黒保根小を「Live On Camera (インターネット)」で結ぶ

12月7日(水)の3・4校時に、北小6年生(31名)と黒保根小6年生(6名)が、ライブオンカメラ(Live On Camera)を使った<テレビ会議システム>によって、2校合同(同時)の理科の授業:『楽しく酸とアルカリについて学ぼう!』を、以下の流れで行いました。

- | | |
|--------|------------------------|
| 【第3校時】 | ① Ph試験紙で、持参した水溶液を調べよう! |
| 【第4校時】 | ② お酢の濃度を変えよう! |
| | ③ 希釈の計算方法について学ぼう! |
| | ④ グラフを描こう! |



この授業は、ここ数年、未来創生塾の未来創生プログラム基礎編を活用して本校の6年生が行っているものですが、<テレビ会議システム>が導入されている黒保根小から要請があり、黒保根小の6年生も参加して一緒に授業を行うことになりました。

北小と黒保根小は約11Km離れていますが、両校の理科室をインターネット回線で結ぶことにより、同時授業が可能になっています。

当日は、群馬大学大学院理工学府(環境創生部門)宝口恭教授の研究室の講師陣が両校(北小:大学院生4名・秘書1名、黒保根小:大学院生2名)を訪れ、両校の理科室の様子、講師や児童の発言を、テレビや大型スクリーン、音声で把握しながら、同時進行で授業を進めました。

講師の大学院生が、「黒保根小の皆さん、どうですか?」と言うと、黒保根小児童の声が瞬時に聞こえてくる双方向性のある授業で、「カメラが動いて講師の“眼”になるような被写体の取り上げ方」や「講師の発問に対する両校児童の反応(挙手、発表)の拾い方」、「両校児童の発表内容の交流」や「板書を活用した授業の進め方」などを研究していくと、さらに充実した授業づくりに結び付いていくシステムであると感じました。



【Live On Camera】



【大学院生のレクチャー】



【両校の様子が2分割画面に】



【水溶液のPh調べ】



【システムのエンジニア】



【真剣に希釈しています】

この授業には、見口悟先生(理科専科)、星口晋先生(元理科専科)、小口弘先生(教育活動支援員)も参加して児童の支援に当たり、授業終了後は、両校の校長が<テレビ会議システム>を使って、お互いの顔を見ながら、授業の感想やお礼を述べ合いました。

なお、この授業の様子は、12月9日(金)の<桐生タイムス>で報道されました。



ゑびす講への協力…お宝・福袋が贈られる！

毎年、ゑびす講に際して、校庭
場や水道の貸し出しを行って協力し
催者からお宝（職員室用＝大、保健
（児童）をもらって西宮全
は西宮の



の一部を解放し、駐車で
いる本校には、主
室用＝小）や福袋
員、職員全員）が贈
ます。
神社に近い北小ならで
統になっています。